

小規模企業の景況

(2025年4～6月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2025年4～6月期の結果概要は以下の通り。今期(2025年4～6月期、調査基準日:6月1日)の業況判断DIは▲24.8(前回調査▲22.7)となり、4期連続して低下した。売上額DI値は▲16.8(前回調査から5.6ポイント低下)、資金繰りDI値は▲17.9(前回調査から1.0ポイント低下)、従業員数過不足DI値は▲15.6(前回調査から2.9ポイント低下)となった。「経営上の問題点」では、「仕入単価の上昇」が小売業で12期連続第1位、卸売業で5期連続第1位となり、2業種で単価上昇が共通課題となった。

1. 今期(2025年4～6月期)の状況

【売上額】今期(2025年4～6月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2025年1～3月期)の▲11.2から5.6ポイント低下し、▲16.8となった。業種別では前回調査から、製造業が3.5ポイント、卸売業が12.7ポイント、小売業が11.4ポイントそれぞれ低下し、サービス業が2.9ポイント上昇した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲16.9)から1.0ポイント低下し、▲17.9となった。業種別では前回調査から、製造業が7.9ポイント、卸売業が0.4ポイント、小売業が2.7ポイントそれぞれ低下し、サービス業が7.0ポイント上昇した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲22.7)から2.1ポイント低下し、▲24.8となった。業種別では前回調査から、製造業が4.7ポイント、小売業が5.9ポイントそれぞれ低下し、卸売業が1.3ポイント、サービス業が0.9ポイントそれぞれ上昇した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲12.7)から2.9ポイント低下し、▲15.6となった。業種別では前回調査から、製造業が0.5ポイント、サービス業が2.5ポイントそれぞれ上昇し、卸売業が4.2ポイント、小売業が11.5ポイントそれぞれ低下した。

2. 来期(2025年7～9月期)の予想

来期(2025年7～9月期)の全産業の予想DIは、売上額▲9.2、資金繰り▲15.3、業況判断は▲15.6となった。

3. 経営上の問題点

製造業で「需要の停滞」、卸売業・小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「利用者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2024年4～6月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

本件担当：大阪商工会議所 中小企業振興部 経営相談室 06-6944-6451

【調査の概要】

- ・調査名：第180回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
- ・調査時期：2025年5月21日～6月6日（前回：2025年2月10日～3月5日）
- ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
- ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国18,841件中（商工会議所調査対象7,874件）、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）262件について取りまとめた。
〔製造業74件、卸売業59件、小売業61件、サービス業68件〕

■DI推移（全産業）

	177回調査	178回調査	179回調査 （前回）		180回調査 （今回）	
	2024年(R6) 7～9月期	2024年(R6) 10～12月期	2025年(R7) 1～3月期	2025年(R7) 4～6月期	2025年(R7) 4～6月期	2025年(R7) 7～9月期
売上額（増-減）	-13.9	-17.2	-11.2	-8.7	-16.8	-9.2
資金繰り（好-悪）	-14.6	-19.0	-16.9	-13.6	-17.9	-15.3
業況（好-悪）	-19.1	-22.4	-22.7	-20.2	-24.8	-15.6
従業員（過-不）	-5.9	-14.5	-12.7	-	-15.6	-

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	需要の停滞 →	15 (18)	仕入単価の上 昇 →	18 (20)	仕入単価の上昇 →	12 (16)	利用者ニーズの 変化への対応 →	9 (11)
2位	原材料価格の上 昇 ↓	12 (18)	需要の停滞 →	13 (9)	需要の停滞 → 消費者ニーズの 変化への対応 ↑	10 (11) 10 (7)	人件費の増加 → 需要の停滞 ↑ 熟練従業員の確 保難 ↑	7 (7) 7 (5) 7 (5)
3位	生産設備の不 足・老朽化 →	11 (8)	販売単価の低 下・上昇難 →	6 (6)				

〔注〕（ ）内は前回（2025年1～3月期）調査結果

↑＝前回より高順位

→＝前回と同順位

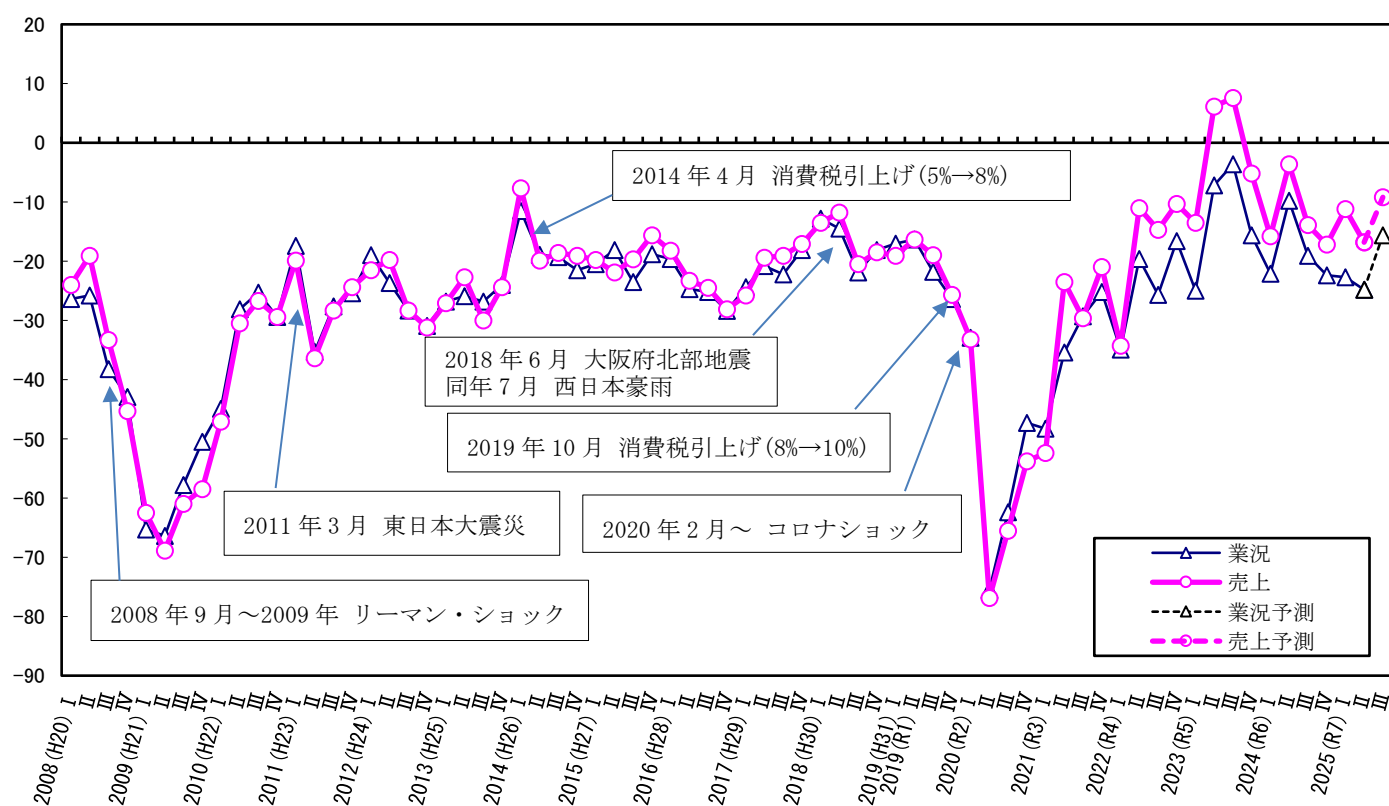
↓＝前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(4～6 月期)				前回(1～3 月期)からの推移	来期の予想(7～9 月期)			
売上額		増加	不変	減少	増－減		増加	不変	減少	増－減
	製造業	16.2	43.2	40.5	▲ 24.3	▲ 3.5	12.2	52.7	35.1	▲ 23.0
	卸売業	25.4	30.5	44.1	▲ 18.6	▲12.7	30.5	35.6	33.9	▲ 3.4
	小売業	29.5	26.2	44.3	▲ 14.8	▲ 11.4	29.5	34.4	34.4	▲ 4.9
	サービス業	26.5	36.8	35.3	▲ 8.8	2.9	27.9	41.2	30.9	▲ 2.9
	合計	24.0	34.7	40.8	▲ 16.8	▲ 5.6	24.4	41.6	33.6	▲ 9.2
	前回	26.9	34.3	38.0	▲ 11.2		22.7	45.5	31.4	▲ 8.7
資金繰り		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	1.4	73.0	24.3	▲ 23.0	▲ 7.9	1.4	79.7	17.6	▲ 16.2
	卸売業	8.5	72.9	18.6	▲ 10.2	▲ 0.4	3.4	76.3	18.6	▲ 15.3
	小売業	6.6	62.3	29.5	▲ 23.0	▲2.7	4.9	67.2	24.6	▲ 19.7
	サービス業	7.4	69.1	22.1	▲ 14.7	7.0	8.8	70.6	19.1	▲ 10.3
	合計	5.7	69.5	23.7	▲ 17.9	▲1.0	4.6	73.7	19.8	▲ 15.3
	前回	5.3	70.8	22.2	▲ 16.9		6.2	72.3	19.8	▲ 13.6
業況		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	8.1	52.7	39.2	▲ 31.1	▲ 4.7	9.5	58.1	32.4	▲ 23.0
	卸売業	13.6	50.8	33.9	▲ 20.3	1.3	20.3	44.1	28.8	▲ 8.5
	小売業	14.8	39.3	42.6	▲ 27.9	▲5.9	11.5	52.5	31.1	▲ 19.7
	サービス業	14.7	51.5	33.8	▲ 19.1	0.9	19.1	51.5	29.4	▲ 10.3
	合計	12.6	48.9	37.4	▲ 24.8	▲ 2.1	14.9	51.9	30.5	▲ 15.6
	前回	12.8	50.4	35.5	▲ 22.7		9.5	57.6	29.6	▲ 20.2
従業員		過剰	適正	不足	過－不					
	製造業	1.4	75.7	17.6	▲ 16.2	0.5				
	卸売業	0.0	83.1	11.9	▲ 11.9	▲ 4.2				
	小売業	3.3	67.2	14.8	▲ 11.5	▲ 11.5				
	サービス業	5.9	63.2	27.9	▲ 22.1	2.5				
	合計	2.7	72.1	18.3	▲ 15.6	▲ 2.9				
	前回	2.0	75.8	14.8	▲ 12.7					

「今期の状況（除従業員）」は2025年4～6月期状況であり、前年同期の2024年4～6月期との比較。来期の予想は2025年7～9月期予想であり、2024年7～9月期との比較である。「前回」欄は2025年1～3月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※Ⅰ期=1-3月、Ⅱ期=4-6月、Ⅲ期=7-9月、Ⅳ期=10-12月

※2025年Ⅲ予想値